



組織で生きる

管理と倫理のはざまで

勝原裕美子＝著

本体 2700 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5600

『看護管理』誌（医学書院）に連載された『看護管理者としてよりよく生きるために——倫理課題とどう向き合うか』で展開された、管理者の倫理的意思決定をめぐるジレンマ、課題への向き合い方、組織風土の醸成の仕方が、より丁寧に深く解説される。人としてよりよく生きることと、組織人として決断を下すときに生まれる倫理課題。その葛藤をくぐってこそ、管理者としてのキャリアが形成されるのだとエールを送る。

組織で生きる すべての管理職に——

——あなたは、組織で起きる倫理的ジレンマにどう向き合っているか。

管理職としてのキャリアは、
実はここにある。

4つのアイデンティティと、
17の連続的要求で読み解く、
わが国初の組織倫理の解説本！

医学書院

在宅医療が必要な子どものための

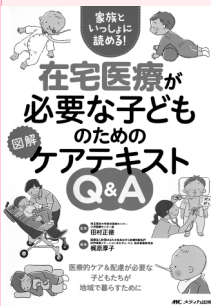
図解ケアテキスト Q & A

家族といっしょに読める！

田村正徳＝監修、梶原厚子＝編

本体 4000 円＋税

メディカ出版 ☎ 0120-276-591



近年の新生児医療の発達により、医療的ケアが必要な子どもが増えている。本書は、そうした子どもの暮らしを在宅で支えるために必要な情報を、「呼吸ケア」「栄養ケア」「排泄ケア」「循環器ケア」「発達を促すケア」「リハビリテーション」「緊急対応と防災」の7章にわけて、その考え方や手技を詳述する。小児在宅医療に関わる方にお勧めの1冊だ。

訪問看護師ががんになって知った 「生」と「死」のゆらぎ

川越博美＝著

本体 1600 円＋税

日本看護協会出版会 ☎ 0436-23-3271



『コミュニティケア』誌（日本看護協会出版）での連載をもとに書籍化された1冊。多くの在宅がん患者のケアに携わる一方、大学で教鞭を取る著者ならではの視点で、自らのがん体験をふり返る。患者として看護への提言、地域看護を担う施設管理者の立場からの政策への具体的な提言に、「家で死ぬるまらづくり」の姿が見えてくる。

縮充する日本

「参加」が創り出す人口減少社会の希望

山崎亮＝著

本体 1200 円＋税

PHP 研究所 ☎ 03-3520-9630



小誌連載「地域包括ケアのまちを歩く」で有名な、山崎亮氏の著書。「人口や税収が縮小しながらも地域の営みや住民の生活が充実したものになっていくしくみを僕らは編み出さなければならぬ時期を迎えている（序章より）」と、そこでは市民の「参加」が欠かせないという。小誌連載での語りを下支えする思考が、本書のなかに描かれている。

日本まじない食図鑑

お守りを食べ、縁起を味わう

吉野りり花＝著

本体 2000 円＋税

青弓社 ☎ 03-3265-8548



避けられぬ病や自然災害に対し、人々は、神仏や目には見えぬものの力を借りるために祈りを捧げてきた。そうした素朴な願いを込めた祈りと結びついた食べ物が「まじない食」だ。今なお、各地に伝統食・行事食として残っているという。まじない食の謂れ、地域の様子、取り巻く人々の息遣いを活写した同書は、地域がもつ力にも気づかせる。